

* * * 新春を飾る各種行事 * * *

出初式 (1月6日)

恒例の消防出初式は、ばた雪の降る桂城公園で行われ、石川市長の訓辭を受けたあと、綱振りや分列行進を行い、引き続き市民体育馆で式典が行われました。



書初め大会 (1月7日)

今年で2回目の書初め大会は、中央公民館で約70人が参加して行われました。ほとんどが小学生とはいえ、さすが落着いた静かなふんい気のなか盛会裡に終了しました。



交通指導隊初出式 (1月10日)

市民で組織されている交通指導隊20人による初出式が市役所正面玄関前で行われ、石川市長の訓辭などを受けたあと、交通安全祈願のため神明社まで市中行進をしました。



百人一首競技会 (1月11日)

中央公民館で行われたこの競技は、今年が初めてで16人という少ない参加でしたが、来年2回目からの盛会を期待して終了しました。



国保情報

No. 12 <老人医療と国保>

老人医療はタダではない

70歳以上の老人が病院で診療を受けた場合、直接窓口でお金を払わなくてもよいことから老人医療はタダと思われておりますが、この医療費の7割は国保で残りの3割を県と市や市で医者さんに支払っているために自己負担がないということで、決してタダではありません。

国保で負担した老人分医療費

(昭和49年度分)

(区分)	(老人)	(一般)
被保険者数	1,780人	2,456人
医療費総額	323,931千円	913,194千円
国保負担額	226,752千円	632,280千円
1人当たり負担額	127,389円	25,738円
診療日数	90・8日	18・2日

以上の49年度分をみると国保被保険者のうち老人の割合が6・8%であるのに対して、医療費は26・3%をしめ、老人1人当たりの国保負担額は、一般の4・9倍で総額では2億2,675万円にも達しています。

医療費がふえれば

医療費の3割は患者の自己負担であり、また4割は国の補助金で残りの3割は、国保加入者から納めていただく税金でまかうことになっております。

老人医療等の無料化制度が、年々拡大され、また、医療技術の向上から医療費が急激にふえて国保財政を圧迫しておりますが、医療費がふえると当然保険税を引き上げなければならなくなり国保加入者全員の負担がふえることになります。大都市の国保では、今年度保険税を引き上げなければならぬために約6,500万円の赤字が生ずる見込みです。

医療費を節約しましょう

老人1人が1年間で平均70・8日も病院通いをしておりますが、この日数を1人が1年に1日減らした場合は、580万円、また、1カ月に1日減らした場合は、7,000万円もの医療費を節約することができます。

自己負担がないからといって安易に病院をかえることなく、また、お医者さんの指示をよく守って自分の健康は自分で管理するように心がけ、医療費のムダ使いをしないようみなさんのご協力をお願いいたします。

保健婦の窓

◇ 血圧をさげる生活の工夫

○精神的原因で血圧が上っていますか

血圧は精神的な不安、恐怖、ストレスが長く続くとそれとともに上昇することがあります。心の重荷を人にうち明けたり環境を変えてみたりすることによって気持がすっきりするものです。

○生活のリズムに無理はありませんか

1日の疲労は1日で回復できるように疲労の蓄積は高血圧の原因となりますので、日中の適当な休息、夜の睡眠を十分とすることが大切です。

○食生活に問題がありませんか

食塩のとりすぎ、片寄った食餌、ごはん類の食べすぎなどを避けバランスのとれた食餌が大切です。

その他、いろいろ工夫がありますが、自分でできるものからひとつひとつ実行に移し、あせらず長い目で努力を続けましょう。

南小の校章

入選作品が決定

今春4月1日から、二井田小、真中小杉沢小の3校が統合して新しく開校する市立南小学校の校章を1月2号で公募したところ、154編の応募がありました。

1月9日の審査会には、教育長、学校教育課長、南中、統合校の3校長の6名が審査にあたり、厳選の結果、入選1点佳作2点が決定しました。

〔入選〕 鹿角市花輪旭町（会社員）
赤沢明男さん（39歳）

〔佳作〕 市内花岡町桜町（会社員）
三沢精一さん（52歳）
市内中町12（会社員）
仲沢 賢さん（33歳）

〔入選作品〕



両側に南の「ミ」を張り出し、飛躍の意味が込められています。

今月は

固定資産税第4期の納期です。

忘れずに納めましょう

交通事故相談

とき・毎月第2、4火曜日

じかん・午前9時～午後5時

ところ・市役所第1会議室

※ 気軽にご利用ください。